



CARROT CLUB

『エンシェントアイル』号引退のお知らせ

会員各位

2021年7月26日
株式会社キャロットクラブ

拝啓 毎々格別のご厚情を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ご出資いただきました愛馬『エンシェントアイル』号ですが、6月生まれ的大型馬ですがじっくり育成を進めた甲斐あって、2歳の初夏には入厩の日を迎えることができました。ゲート試験合格後はNF天栄でしっかり乗り込み、9月に再入厩して10月の初陣へ向かいましたが、初めての競馬に戸惑ったか結果を残すことはできませんでした。しかし、稽古の動き自体は悪くなく、2戦目でダートに条件を変えたところ、いきなり2着と好走してくれました。これならばという手応えを得てメンバーが分散するであろうと思われた年明けの3日間開催のレースに照準を合わせ、鞍上にルメール騎手を配して臨んだものの残念ながら着順を下げ5着に敗退してしまいました。巻き返すべく立て直しを図ったのですが、放牧先で膝の骨折が判明し、その後は北海道で不安をなくすためにオベを施したうえで復帰を目指していましたが、入厩目前に左トモを捻ってしまったことに起因すると思われる腫れが生じてしまいました。徐々に快方へ向かっていたものの、それでも良化はスローで時間を要することが想像されること、現状でどこまでのパフォーマンスを発揮できるのか不透明であること、また、ぶり返す恐れもあるなど体質面に疑問符がついてしまうことなど、総合的に考えるとこのまま続けるのは得策ではないのではないかという判断に至り、戸田博文調教師とも相談した結果、ここで現役続行を断念し、競走馬登録を抹消(用途:オークション)することとなりました。会員の皆様にはまことに残念なことと存じますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

NF早来担当者は「ここまで左トモの治療を継続して行ってきましたが、時間の経過とともに良化はしているもののまだ完治とはいきません。直近で競馬を使っていた馬ならまた違ったのでしょうか、元々骨折により長期休養を余儀なくされていた上に500キロを超える大型馬。そして今回の症状で1ヶ月近く乗り運動を制限せざるを得ない状況が続いていることを踏まえると、今後スムーズに乗り出しを再開できたとしても競馬を考えていくにはさらに時間が掛かってしまいます。何とか3歳未勝利期間内に間に合うようにできる限りにことは行ってきましたが、それは現実的ではなくなってしまいました。たとえその後の競馬を見ていくにしても、現段階の状態では判断すると年内に態勢をしっかりと整えたいという数を使っていくのは簡単ではないとの診断でした。このようなことになり大変申し訳なく思っております」と話していました。

戸田博文調教師は「前走後は放牧に出して立て直しを図ってもらったことにはしたのですが、レース時に負ったと思われる膝の不安が見つかり、その後はその不安をなくすべく北海道へ移して手術を施し、回復のために時間をかけてもらっていました。いったんは6月頃に入厩を考えられそうという話をもらいましたが、入厩の直前になって別の箇所不安が出てしまい、未勝利期間内に万全の態勢で臨むことは難しいという話を伺いました。好走したことがある馬ですし、惜しい気持ち、できることなら続投したいという気持ちはありますが、弱さがあるのは否めません。何とか結果を残してこの馬の今後の成長を近くで見守っていきたく思っていただけにこのような判断になって残念でなりませんし、皆さんの期待に応えることができず誠に申し訳ございません」と残念そうに話していました。

なお、現役時に発生した預託料(未精算分)につきましては維持費出資金として、抹消月をこえた後も実費にてご請求申し上げることになります(維持費出資金は概ね前々月21日から前月20日までの飼養管理費用を当月にご請求申し上げます)。予めご了承ください。

敬具

※本馬の引退精算は2021年10月度もしくは11月度を予定しています。

※サラブレッドオークションで落札された場合、地方競馬での成績によっては中央再登録の可能性もあることを予めご承知おきください。

※本馬の運用終了に伴い、出資馬がいなくなった場合でも会員資格は継続されます(退会をご希望される場合は、クラブまでその旨お申し出ください)。